

て白いしぶきをあげているようですが、まるで臼を挽いているかのように見えることから「臼」と、浅瀬を意味する「磬」をいう文字を合わせた地名になったという言い伝えがある。

足摺岬の燈台は約70mの断崖の上に立っているが、台風など海の大荒れの時には怒涛が燈台の高さにまで達するという。しかし、波の静かなときには絶好の観光の場、そして釣り場となっており多くの釣り人で賑わっている。

複雑で美しい岩場に海水が絶え間なく入り込んで面白い光景で、100mほどの沖には岩ばかりで出た小さな島があって、ここが大物を狙う絶好の釣り場となっており、釣り人を搬送する小舟が一日に何回か往復して釣人の便宜を図っている。

近くにジョン・万次郎の銅像が立っている。万次郎「[小惑星 (4841): 参照]」の銅像も遠い海を眺め、アメリカに涉った日のことを思い出しているように見える。

遥かに汽船の行く水平線は球形に輝いていた。(関勉: 報)

天文ガイド 2017年1月号



海岸ジョン万次郎の銅像 (提供: 関勉)

(11927) ケント山

Mount Kent = 1993 BA [2.57, 0.06, 14.8]

1993年1月16日、関勉が芸西天文台で発見した。(M 36 253)

オーストラリア、クイーンズランド州南東部にあるサザンクイーンズランド大学付属の天文台の「マウント・ケント天文台」からの命名。(M 61 267)

天文教育、研究、普及を目的としているこの天文台は、トゥウンバ市から20kmほど離れた標高682mのマウント・ケントにあり、教育用にはアマチュア用のコンピュータ操作による40cmシュミット・カセグレン、CCDカメラを備え、遠隔操作もできる教育用の30cmシュミットカセグレン、米国ルイビル大学の教育・研究用に50cmロボティック (遠隔操作) 望遠鏡が二つのドームに設置されている。

また、ルイビル大学の他にもクイーンズランド大学、オートメイテッド・パトロール・テレスコプ・オーストラリアなどの組織が協力関係にある。

マウント・ケント天文台は小規模ながら、クイーンズランド州唯一の大学が運営する天文関係の専門機関で、教育・研究のみならず、アマチュアへの協力、一般への天文普及にも力をいれている。この天文台の将来の発展を願って発見者を通じ、今回の命名を提案した。(加藤 英司: 報)

天文ガイド 2008年2月号



マウント・ケント天文台

(11928) 秋元

Akimotohiro = 1993 BT2 [2.63, 0.21, 5.4]

1993年1月23日、円館金と渡辺和郎が北見・津別観測所で発見した。(M 36 253)

日本の天文雑誌「月刊天文ガイド」編集長の「秋元 宏之 (1967 -)」にちなみ命名。(M 49 674)

2002 - 年『月刊天文ガイド』編集長。以降は、天文学に関する著書を多数企画・出版。



バンドラによるボルックス食で昼食中の秋元宏之
(右端: 渡部潤一と富田弘一郎 2002年4月6日)

(11929) 内野

Uchino = 1993 BG3 [2.79, 0.21, 8.2]

1993年1月23日、円館金と渡辺和郎が北見・津別観測所で発見した。(M 36 254)

川崎天文同好会の幹事長を長年務めた「内野 哲 (1935 -)」にちなみ命名。(M 49 674)

2015年10月、故箕輪敏行をしのび、パネル展をかわさき宇宙と緑の科学館にて小川誠、国司真らと企画する。また、148年前に日本で初めて「金星の太陽面通過」が観測された横浜・野毛山 (現・西区宮崎町) を含む「明治7年金星太陽面通過観測地」が、日本天文学会が選ぶ「日本天文遺産」に認定、観測から100年後の記念碑建立に携わり、遺産候補として推薦した川崎天文同好会のメンバーの一人として「日本天文学の幕開けとなった貴重な県内の史跡が認められ、後世にしっかりと伝えていける」と喜んだ。地元の天文学の大衆化に大きく貢献した。天文ガイド 2004年1月号



川崎天文同好会の小川誠と内野哲 (右東京新聞 出典)

(11930) 修

Osamu = 1993 CJ1 [2.57, 0.10, 13.4]

1993年2月15日、日置努と早川修司が奥多摩観測所で発見した。(M 36 254)

群馬県を代表するアマチュア天文家「大島 修 (1959 -)」にちなみ命名。(M 43 045)

理科教師であり、ボランティアによる天文普及活動は子供たちに大変好評。天文学への関心も広く、現在は惑星状星雲の CCD イメージングを行っている。

1959年 群馬県新田郡新田町に生まれる。群馬県立太田高等学校卒業、群馬大学教育学部卒業地学 (地球物理学)、高等学校 (非常勤) 2校、中学校2校 → 小学校 → 中学校をへて、2001年群馬県総合教育センター指導主事、アマチュア無線技師第2級。群馬星の会顧問、太田宇宙の会副会長、群馬県生涯学習センター・サイエンスインストラクター顧問。

大島 修

(11933) 日向

Himuka = 1993 ES [2.67, 0.19, 11.4]

1993年3月15日、円館金と渡辺和郎が北見・津別観測所で発見した。(M 36 255)

日本の九州、宮崎 [小惑星 (6905): 参照] 県地域の古い日本語の